

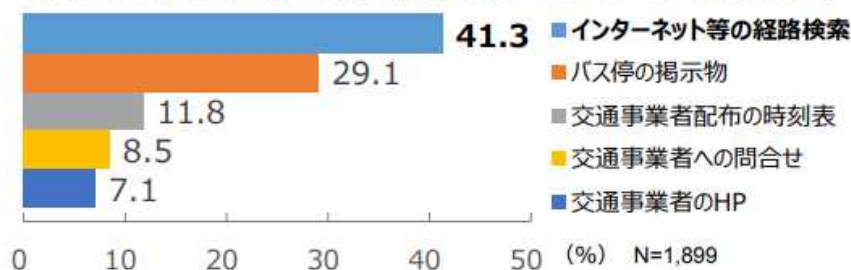
# 内航旅客船・フェリーの 航路情報のデータ整備に関する取組について

令和元年12月6日  
海事局内航課

- 個人旅行のインバウンド客の日本国内における旅行先や交通手段の選好においては、交通検索アプリが非常に大きな影響を有している。

## 経路検索手段の現状

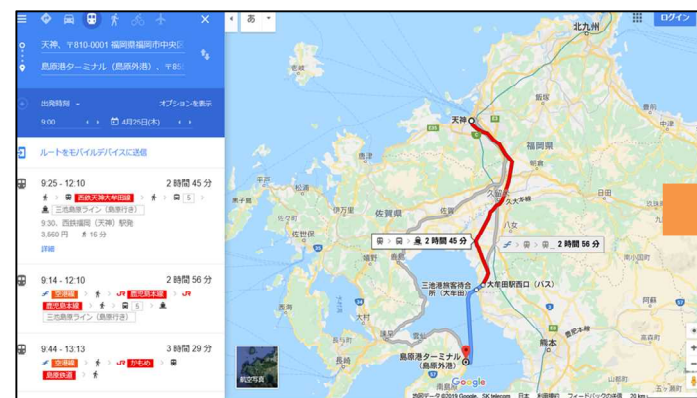
路線バスの経路等を調べる際の情報取得先 (平成28年12月内閣府世論調査)



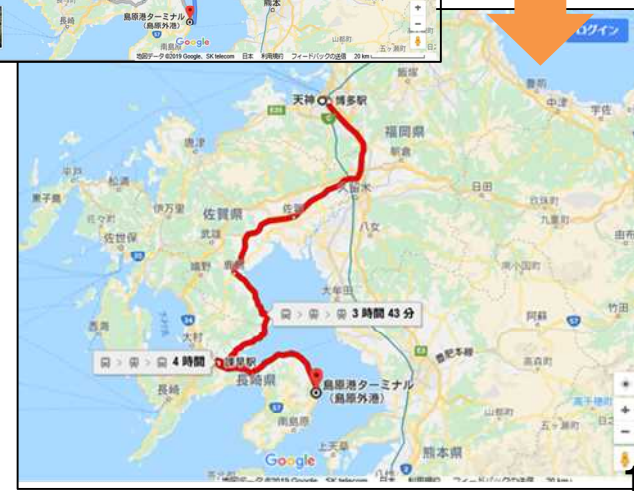
① 目的地への行き方を調べる際、インターネット等の経路検索サービスが利用されている。

② 経路検索に表示されない時点で、経路が存在しないと認識されている可能性。

③ 例えば、天神から島原港への経路を検索した場合、本来なら大牟田港～島原港の航路を含む経路が最短となるが...

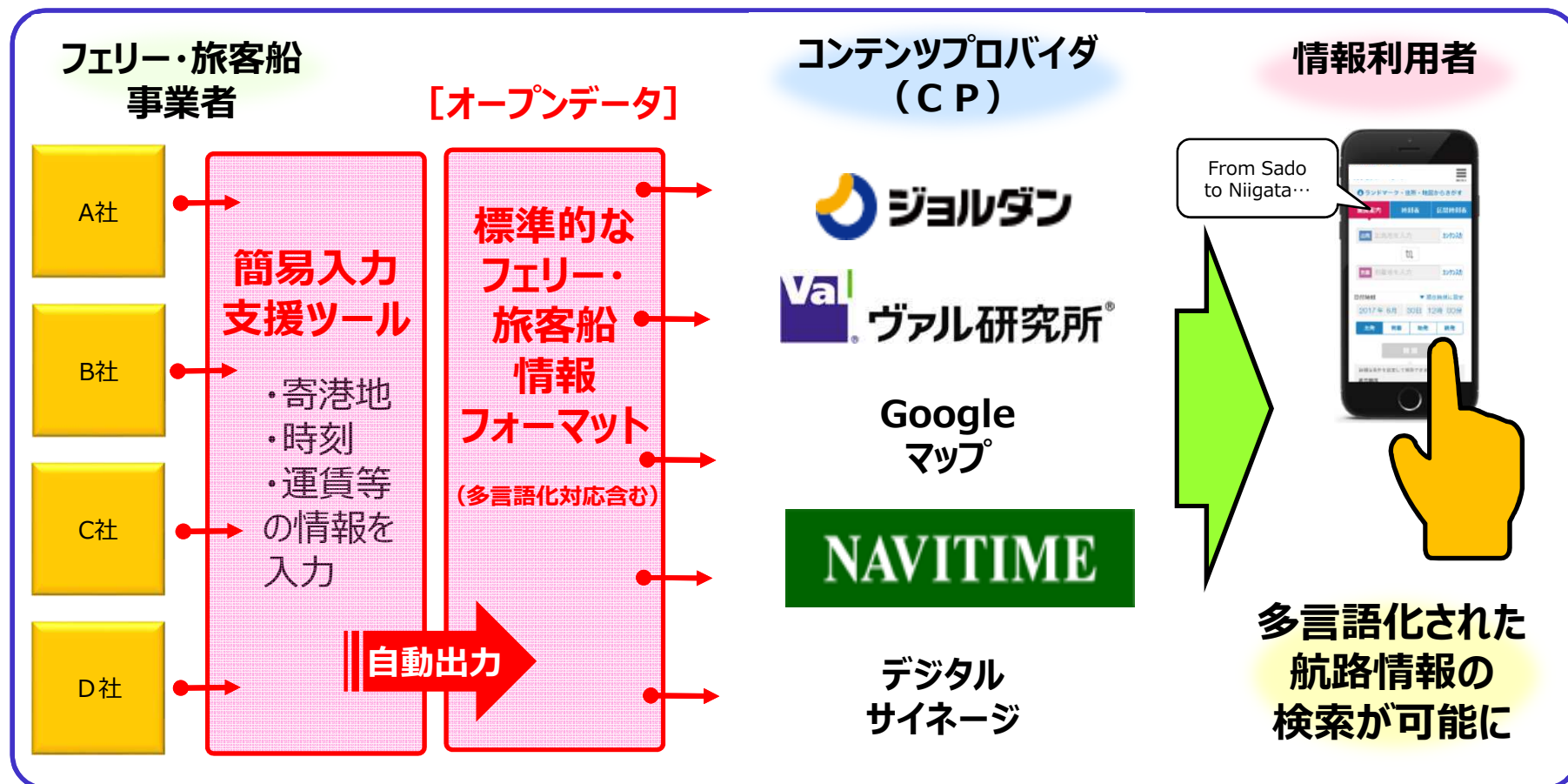


④ Googleに登録されていないと、陸路ルートのみが表示となり、航路そのものが無いように見えてしまう。



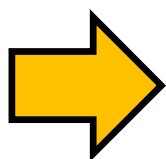
- 本年4月、「標準的なフェリー・旅客船情報フォーマット」、「簡易入力支援ツール」及び「ガイドライン」を作成し、国土交通省ウェブサイト<sup>1</sup>に無料で公開。
- 同フォーマットには、寄港地、時刻及び運賃等、航路の基本的なデータ項目が含まれ、事業者がより簡便に交通検索事業者等への情報提供及びコンテンツプロバイダ（CP）への掲載等を行うことが可能。
- エクセルの「支援ツール」に必要な項目を入力するだけで「情報フォーマット」が出力され、事業者自身による入力負荷が相当に軽減。

## オープンデータ化フローイメージ



### <フェリー・旅客船事業者のメリット>

- ◆ 複数の検索サイトによる情報提供により、航路情報の入手がより容易に。多言語データ入力にも対応しており、**インバウンド等の利用増が期待**。
- ◆ 既存のコンテンツやプラットフォームと連携することにより、観光情報等の他情報との連携など、**付加価値の高い情報提供の拡大が期待**。
- ◆ 事業者自らのデータ整備が容易となり、**情報の正確性と迅速なアップデートを実現**。



航路情報の共有化が図られ、  
自治体の交通・観光関係施策や「MaaS」のサービスに利用が可能。

フォーマットは以下からダウンロードできます

[http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_tk3\\_000061.html](http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk3_000061.html)



▲ アクセス  
QRコード



航路情報 オープンデータ化フォーマット

検索 



## 九州運輸局

- 運輸局から航路事業者に対し、経路検索サービス活用支援の取組を説明し、その活用メリットを広く周知。併せて、意欲のある事業者に対して職員自ら個別に支援を実施。

### 【現状】

- 2019年11月現在、「Googleマップ」に運航情報等を提供しているのは、17事業者25航路（実装率約25%※）。  
 ※九州管内の一般旅客航路事業者81事業者100航路
- そのうち、運輸局が支援し登録を行ったのは4事業者6航路。
- 今後も重点エリア（※）を中心に早期登録に向けた支援を実施。



(参考) 運輸局で支援を完了した航路

### 【先行事例】

- 運輸局の支援により、やまさ海運の島原～大牟田航路が今年4月にGoogleマップに表示されるようになり、初めての旅客や、外国人旅行者が乗船するようになった。
- 「問い合わせも増え、長期的にはより効果が出てくると思う。乗客が減る中で懸命に手立てを打っている。観光客を取り込むことが今後の課題。」（やまさ海運 伊達社長）



令和元年11月20日（水） 産経新聞

（※）陸上に比べて海上ルートの優位性が高い地域（有明海横断航路、鹿児島横断航路等）や観光利用の割合が高く今後も伸びが期待できる地域（壱岐・対馬航路、五島列島航路、天草航路、種子島・屋久島航路、甑島航路等）



- 現在、一般旅客定期航路事業者を対象に、事前調査として、航路情報のデータ整備状況や経路検索サービスへの掲載状況等について、アンケート調査を実施中。
- 調査結果等に基づき、①「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」の機能向上、航路事業者に対し②GTFSデータ化及び③講習会等の支援を行うことにより、航路情報のGTFSデータ化促進を図る。

## ①既存フォーマットの利便性機能向上

- ◆ 今年4月に公開した「フェリー・旅客船航路情報フォーマット」及び「簡易入力支援ツール」の利便性機能向上の実施。

### 【利便性機能向上の想定】

- ・支援ツールにおける入力フォームの平易化
- ・データ化対象情報の拡充
- ・運休情報等のアラート機能等の機能追加 等

## ②航路情報等のGTFS化支援

- ◆ 以下の条件に該当する航路を50～100程度選定し、航路情報等のGTFSデータ化支援（多言語対応を含む）。

### 【対象航路の想定】

- ・国際空港・港湾へのアクセス航路
- ・国内幹線航路
- ・観光地へのアクセス航路
- ・離島へのアクセス航路 等

## ③GTFS策定・更新のための講習会等の実施

- ◆ ①で改良したフォーマット及び作成ツールを用いて、事業者自身により、データ作成・更新等が出来るようにするため、事業者向けのマニュアルを作成するとともに、講習会を開催する。
- ◆ また、地方運輸局担当者が航路事業者へアドバイスできるようにするため、担当者向けのマニュアルを作成。



航路情報のGTFSデータ化促進へ